

あなた…

花嫁の幸福

く籠の扉が開く時

そういう訳です



本当に
すまない…

酔った
勢いで

こんな事に…



自宅にも
手持ちが
無いと
きてる



いやあ
旦那さん

威勢の
賭けつぷり
したより

しかし
負けて同僚に
金を借りたは
良いが



だから

私が
肩代わり

貸した彼もね
今月ヤバイ
らしくて




...




大丈夫よ

あなた



私だってこれ迄
何度あなたに
助けられて
きた事か

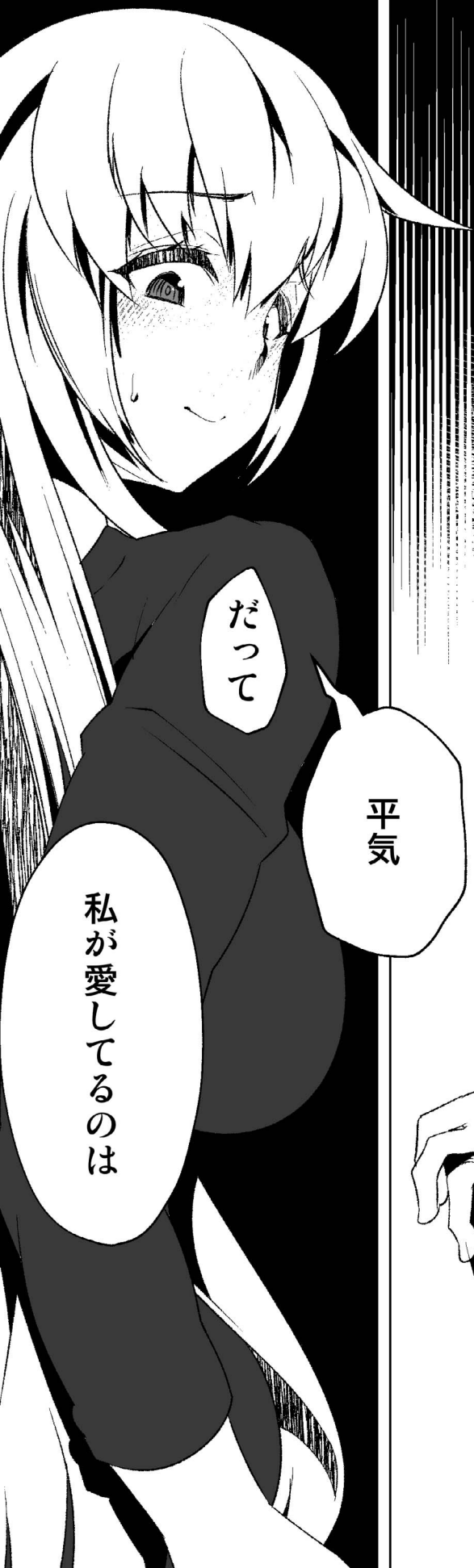


私に出来る事なら
喜んでするわ



え

...



だって

私が愛してるのは

平気



そ

そ…

…平気よ



あなただけだもの

おはよう



ん...ん...ん

悠莉

...

こんな
異常な

言わば
窮地に
陥つても

妻は：
悠莉は：

全く
動じない
のか—？

：震えている
気丈ですね

：お気遣いなく

：早急に：
済ませましょう

：





あの



あなたが
どんな気持ちで
私を抱くのか
知りませんけど

終始

あなたに
合わせますから

何でも仰って
ください

非は

私達に
あるので



…嫌

では
無いですか？

野暮な事

…子供じゃ
無いんですから
駄々なんて
こねません

さあ
…早く



綺麗だ

あの

…本気ですか

本気？

貴方には
不要です

…ああ
風呂…

私は
済ませて
来ましたし

勿体無い



石鹸の香り等
ノイズでしか無い

僕は
そのままの
貴方を

抱きたいんだ

そういう意味では

本気

と言えます

：気持ちの
所在は

これは：
旦那さんにも
言ってますが

実は私
一目惚れ
なんですよ
：
貴方に

：

そ

そんな相手に
こんな仕打ちに
：

他人の奥様だし

やむを得ない

夏の社内
バーベキューで
貴方を
見かけて

無防備に
曝け出した
貴方の肌

眩しかった

あれからもう
寝ても覚めても
私は
：

：

あ

あれは…
その暑か
暑かった
から…

ありや藤崎が
わざと
やらしてんだと

同僚の間でも
そりやあ

…そんな

噂になりました

馬鹿げて
ます

夫は
そんな事…





あんな退屈な夫には
そんな面白い発想は
あり得ない？



おっ

夫は

!

夫は私の
最愛の人です

でも…
お願い
したいんです

彼の尊厳を
傷つける様な事

それだけは
どうか
言わないで
欲しい

確かに今回の事は
申し訳ないと
思っています

あの人は本当に
愚かなことを
しました

きゅっ

あははは!!

あっ…

そんな
急にツ♥

わんわん

最愛の妻を
こんな目に会わせる

あの

駄目な
夫に対して?

う…

だ

わんわん

だから
そういう
酷い…

くちゅっ

わんわん

うひっ♥

